



イルカ通信

隔月1回発行
バックナンバーは無料でダウンロードできます
(下記参照)

2011年4月1日

一般社団法人 小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)



「クジラ真っ盛り！！」

「ウェザーからクジラが見えますよ」とOWAに今シーズン初のザトウクジラ情報が寄せられたのは、昨年の11月21日のことでした。OWAの職員も慌てて事務所を飛び出した甲斐あって、ウェザーからクジラを見ることが出来ました。いつも情報提供ありがとうございます。

さて、OWAでは12月1日から毎朝30分間のザトウの定点観測を行っています(天候・海況不良の時は中止)。定点観測で初めてザトウを確認したのは12月13日。この瞬間は嬉しかったですねえ。自分で見つけた時の快感は最高です。ただ12月の発見は少なく18日間調査を行った中で、のべ5群8頭しか確認できませんでした。

年が明けてからも観測を続けていますが、2月に入ってからザトウの見られる頭数が急に増えたような気がします。2月は調査を12日実施した中で、のべ67群106頭のクジラが確認できました。3月も順調にクジラが見えていて現在までに、のべ74群139頭のクジラを確認しています。次号のイルカ通信には、今シーズンの発見状況などを報告できればと思います。

また現在OWAでは、おがさわら丸入港日の夕方に「クジラの陸上観察会」を実施しています。ザトウクジラの簡単なレクチャーをしながら、皆さんと一緒にクジラを探しています。

「クジラの陸上観察会」



日にち：おがさわら丸父島入港日
4月3日、9日、16日、23日、30日
時間：16:00~17:00
場所：三日月山展望台(ウェザーステーション)
主催：小笠原ホエールウォッチング協会
参加費：無料



陸上観察会で見られた親子のザトウクジラ

「骨もお好き？」

前回「イカがお好き？」というタイトルでイルカの吐き戻し標本のお話をしました。イカのクチバシを使ってイカの種類を調べるといのものでした。

今回は「好き」シリーズ第2弾ということで、鯨類の骨格についてスポットを当てたいと思います。皆さんは普段、鯨類の骨を見たことがありますか？普段は博物館などで見ることが出来ますよね。先日、OWAにあるマダライルカの骨格標本を段ボールから取り出し、標本の保存状態や欠けている部位が無いかのチェックを行いました。



骨を部位ごとに分けて組み立てる研究員

保存状態も良く、頭骨やら下顎骨、肋骨、脊椎骨などザッと見た感じだと全てそろっているようです。今回はチェックのために組み立てましたが作業をしているうちに、これを全身骨格標本にして、どこかに展示したいという気持ちがわき上がってきました。しかし、全身骨格標本の作製には専門の知識と技術が必要で、これを専門の会社に依頼すると結構なお金がかかるのです。骨格標本の道は遠し・・・。

普段は海の中で出会うイルカですが、また別な視点から見るのも案外面白いかも知れません。他にも、アカボウクジラやミナミハンドウイルカの頭骨などあるので、今後はレクチャーや総合学習などにも取り入れていければと思います。

鯨類の骨格についてもう少し詳しく知りたい方は国立科学博物館のホームページをご覧ください。鯨類の頭骨に関する情報を見ることが出来ます。

見ていると結構おもしろいですよ。私だけですかね？
<http://svrsh2.kahaku.go.jp/skull/>



一般社団法人 小笠原ホエールウォッチング協会
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町 Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>
e-mail owa@h6.dion.ne.jp

